

支部だより

2017.12.25 No.18 東京支部事務局

東京支部15周年を祝う

2017年11月16日東京支部15周年記念作品展の最終日、メンバーが銀座「桃杏楼」に集合し、「東京支部15周年記念を祝う会」開催しました。

15周年記念に際し、総会にて「お祝いの会だけでなく、15周年の1年間を通し、新たな東京支部への転換に向け連続的なチャレンジを行いながら15周年を祝おう」ということに決まり、以下の5つのチャレンジを決め推進してきました。

- ① 15周年記念作品展（図録作成を含む）開催
- ② 15周年記念を祝う会開催
- ③ 15周年記念撮影会開催
- ④ 特別研究会「高橋清写真術を学ぶ」開講
- ⑤ 支部HPの充実・発信

東京支部は、2003年2月16日に産声を上げ、初代支部長・廉屋さん⇒関谷さん⇒星野さんと引継ぎ、今年から、私・戸張が支部長を仰せつかり活動を進めています。

定例研究会の歴代の講師には、廉屋支部長、関谷支部長、川隅先生、須山先生、斉藤先生、山本先生にお願いをしアドバイスをいただき、また、撮影技術担当役員のハチマキ王子こと高橋さんにも写真技術向上への指南を受け、今回の15周年記念作品展の成果に繋がってきているのでと思っています。

15周年記念作品展には、メンバー、写友はもちろん、プロ写真家、JNP関係者、そして一般の方々（約860名）がおいでくださり、嬉しい評価を沢山いただきました。

また、「15周年記念を祝う会」は、内輪ではありませんでしたが、メンバーのみでなく、以前東京支部と一緒に活動をされていた方々、JNP理事・監事、関東5支部の支部長の方々、そして、作品展の開催でアドバイスしていただいた山本先生（JNP元会長、現指導会員）を含め30名以上の方々に参加いただき、和気藹々の中で15周年を祝いすることができました。

酒を飲みながら、美味しい料理を食べながらの歓談

が一段落した後「ビンゴゲーム」をスタート、1等・山本先生に寄贈いただいた展示作品、そして、数々の賞品を競い、我に返り楽しい時間を共有しました。



東京支部では、今後も健康に留意し、メンバー全員で20周年を迎えられる様、以下の3つの運営方針をベースに、活動を進めていきたいと思っています。

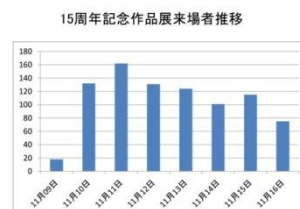
- ① 和気藹々、写真を通した楽しい交流（風景写真を通じたコミュニケーション）
- ② 双方向による撮影技術の研鑽（各自の撮影技術の向上）
- ③ 自由な雰囲気、自由な交流が出来る支部運営（会員数最大30名程度）

最後に、お忙しい中、また遠方よりお出でいただきました皆様方にお礼申し上げますと共に、今後とも、各支部の方々との連携を取ながら支部活動を進めていきたいと思っていますので、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

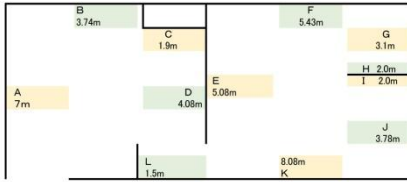
（文責：戸張 眞）

東京支部15周年記念作品展報告

JNP 東京支部 15周年記念作品展は、11月10日から16日にかけて、富士フォトギャラリー銀座スペースⅠおよびⅡにて開催されました。皆様方の絶大なるご協力、ありがとうございました。お蔭様で、累計来場者数は858人と昨年の倍近い方々においでいただきました



今回はクリスタル大全紙で、配列、ライティングも良く、同じ時期に六



本木で開催されていたアマテラスより質が高いと言われる方もおられたとか。



左上は会場全体図。

展示写真47点で、会場の大きさととのバランスも良かったよ

うです。個々の作品については、反省点もかなりあったかとも思いますが、写真展としてはおおむね高評価



であったようです。

また、15周年記念として図録を作成しましたが、これも好評でした（一部ミスがあり関係者には申し訳ありませんでした）。

来年以降、さらに改善して、より良い作品展にしていきたいと思います。

（文責：井上武夫）

2017年山本先生最後の定例研究会、開催！！

1. 日時：2017年12月2日（土）14:00～16:50
2. 会場：写真弘社銀座
3. 講師：山本一先生（JNP指導会員）
4. 参加メンバー数：20名

2017年12月2日（土）今年最後の定例研究会が、

山本先生をお招きして、開催されました。

今回の定例研究会は、山本先生による最後の定例研究会であり、参加20名が作品を各自5点を持ち寄り（全体では約100点近くの作品数）、先生と作者とのやり取りの中で講評が進みました。

山本先生も5回目の講評、また、毎回の定例研究会終了後の懇親会で先生とメンバーとの距離も近くなっていることから、褒めながらも厳しいご指摘の講評でした。

講評開始に当たり、先生は「今回は最後の研究会なのあまり厳しくなく」とおっしゃって「良いですね！！さすがですね！！」と始めながら、厳しい指摘。メンバーからは、「いやあ、今回はいつもの指摘とは違うな？」「とはいえ、参考になった点が多かった」との感想。

講評の中で、先生からの「私はこうと思いますが、皆さんどうですか？」の質問に対しても、「私はこう思う」「ここはカットした方が良いのでは」等々、いろいろな意見が出、良い雰囲気の中での研究会でした。

講評後は、作品をメンバーに回し、細かく見ながらお互いに感想を言ったり、意見交換をしたり・・・

各作品の講評の際、以下の様なアドバイスもいただきました。

- ・背景には極力、白の抜けを入れない様に！！
- ・波の撮影は、波がトップのところではなく、波が上がって落ちる瞬間を捉えること！！
- ・富士山撮影は、富士山を真中に配置しないこと！！
- ・柿の写真は、単に柿だけでなく、背景を十分に考えた構図を！！



定例研究会終了後、先生を囲みいつもの〈桃杏楼〉での懇親会。まずは、先生へのささやかなお礼としてメンバーから先生の好物の“お酒”を贈呈。

先生は、風景写真は今や本業ですが、同時に“お酒”“カラオケ”、そして“〇〇”？が趣味とのこと
その後、時の経つのも忘れ、写真談義、会の運営など話に花が咲き、お酒も進み、楽しいひと時を過ごしました。

山本先生には、5回の定例研究会の講評、作品展出品作品の選択・チェック等毎回薄謝にもかかわらず、お忙しい中大阪からお出でいただき、また、遅くまでお酒にもお付き合いいただきメンバー一同、たいへん感謝しております。今後も引き続き、いろいろな場面でのアドバイス、いや、一緒にお酒を！と思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(文責：太田桃子)

“高橋清写真術を学ぶ”最終報告

1. 日時：2017年11月24日(土) 15:00~17:00
2. 会場：中小企業会館8F・A会議室
3. 講師：高橋清さん(東京支部副支部長・撮影技術担当役員)
4. 参加メンバー数：会員8名、会員外4名(総参加者12名)

去る11月24日(金)、第4回(最終回)「高橋清写真術を学ぶ」が開催された。

今回は「風景写真を楽しむ」をテーマに、高橋さんが撮影した過去3ヶ年12月~3月位までの作品から約60枚を選定し、撮影地の紹介と撮影に当たったのポイントを中心とした講義でした。

今回は、季節的に高橋さんお得意の白鳥、丹頂鶴、北海道での作品、月山方面での作品を中心とした作品が多かった。因みに紹介された作品の撮影エリア、撮影場所は以下の通り。

- ・白鳥・・・茨城県：弁天池
山梨県：山中湖
福島県：猪苗代湖
- ・丹頂鶴・・・北海道：丹頂センター
- ・ふくろう・・・北海道：???
- ・滝・・・栃木県：霧降ノ滝
- ・海岸・・・静岡県：城ヶ崎海岸
- ・北海道ツアー・北海道：摩周湖、屈斜路湖、十勝川、流水・・・

- ・月山ツアー・・・山形県：七つ滝、中台池、大山、白糸の滝・・・
- ・梅・・・東京都：木下梅林
- ・桜・・・長野県：大町、須坂、小川村
山梨県：北杜市、慎原

講義は、過去3回と同様、参加者からの質問、意見に個別に対応しながら和やかな内に進められた。

また、撮影に当たり注意すべき点として作品を見ながらいろいろなアドバイスがなされた。特に、白鳥、丹頂鶴撮影の第1人者である高橋さんからアドバイスを受けた白鳥、丹頂鶴撮影のポイントの幾つかを以下記載する。

- ・鳥の撮影は、難しいものではない。慣れると誰もが個性的な作品が作れる？
- ・白鳥、丹頂鶴の習性、挙動を知る。
- ・流し撮りをするには、1/30以下。風景的に撮るには、1/500。
- ・目にピントを合わせる。他

全4回の特別研究会“高橋清写真術を学ぶ”初めての試みであったが、会員外の方も参加していただき、参加者から良かったとの評価を得て、無事終了。その後、懇親の場を〈うおや一丁〉に移し、本日の講義の感想、意見交換、撮影地情報等熱の入った写真談義・時間も忘れ楽しいひと時を過ごした。

高橋さん、たいへんお疲れ様でした。高橋さんのお陰でメンバーの撮影技術が数段向上したのではと思います。感謝と共に、高橋さんの好物「芋焼酎」をささやかなお礼として皆さんから進呈。美味しい焼酎を選んだので、飲み過ぎない様に！！・・・天の声。

(文責：戸張 眞)

関東5支部+長野支部合同展準備、進行中！

すでに口頭ではご連絡しておりますが、2018年7月16日~22日まで、東京支部を含む関東5支部また、長野支部の特別参加による合同展が開催されます。

合同展は、以下の狙いから開催されるもので、今回が2回目(1回目は、2008年に「富士フィルムフォトサロン東京」および、「富士フィルムフォトサロン仙台」にて開催されました)

今回の合同作品展の内容は、以下の通りです。

- ・狙い：① 大人数の参加による魅力的な写真発表

の機会

- ② 都心を離れ会員同士の交流、親睦、情報取得の増加
- ③ 同展という新鮮な気持ちでの撮影の
- ④ 対応
- ⑤ 上質なレベル、規模での活動展開で関東地区の会員増
- ⑥ 結果としてJNP会員でよかったという誇り

- ・開催期間：2018年7月16日～22日
- ・テーマ：四季の旋律
- ・会場：埼玉プラザ・ノース・ギャラリー
- ・出展者：東京支部、神奈川支部、埼玉支部、千葉支部、群馬支部、長野支部メンバー
- ・出展数：大全紙・・・約140点
- ・その他：JNP指導会員“小松ひとみ”先生による講演

現在、東京支部としては紀田さん、井上さん、長谷川さん、戸張が実行委員として準備を進めています。

準備に当たり、作品候補（2Lプリント、4作品）提出日（2018年1月20日予定）等詳細については、井上さんから連絡があると思います。

なお、作品展開催・運営に当たり、皆様にも協力していただかねばならないことが発生しますので、よろしく願いいたします。

（文責：戸張 眞）

“私のお気に入り撮影スポット” 2017 年第 3 回

わたしのお気に入り撮影地について素人の私が書いても参考にもなりません、白馬から大町市の周辺には定番スポットがそれこそ山のようにあります。どなたも行かれたことがあるかもしれませんが、私の好きなスポットをご紹介します。

この地域は基本的に白馬岳や鹿島槍ヶ岳を中心とする後立山連峰が間近に聳えているので、これを背景に撮影することになりますが、その山並みそのものを楽しむなら、鬼無里への国道の白沢峠や、大町市街を眼下にする鷹狩山があります。

桜の季節なら大定番の野平の桜や青木湖の一本桜、中綱湖対岸のオオヤマザクラ、大町霊園、大町公園がおすすめです。

初夏からでしたら、柵池自然園の水芭蕉や、少し遠いですが鬼無里の奥の奥据花の水芭蕉、中綱湖の蓮、小規模ですが柵田や裏見の八坂大滝のある大町市の東の八坂地区、五竜遠見高山植物園は様々な花が咲きますし、小ぶりの湿原が親海湿原、居谷里湿原、唐花見湿原と揃っています。

秋は大定番の柵池自然園や八方尾根の紅葉、大峰高原の七色大カエデ、新行のソバ畑、足を伸ばせば黒四ダム周辺の大展望と紅葉が楽しめます。

冬は有名な白馬大橋や各スキー場の最上部からの眺めが最高です。



柵池自然園や八方尾根、五竜遠見などは、積雪期は別として足に自信のある方なら1～2時間登れば完全に山に浸ることができます。

個人的には建築を仕事にしてきた者として、JNPの被写体からは外れますが、国宝仁科神明宮や三重塔のある若一王子神社、山門が見事な霊松寺、山村集落として貴重な青鬼地区などが大好きです。

多彩な撮影が楽しめる白馬大町周辺に、ぜひ足を運んでみてください。

（文と写真：菅澤 光裕）

事務局からのお願い

事務局では、フェイスブックを活用して会員相互のコミュニケーションの向上を図るとともに外部に対して積極的に情報発信していきたいと考えております。そのためにページを充実させる目的で、皆さまから写真を募集します。1月10日までに、お1人1点はかならずご提出くださいますよう、どうぞ、よろしくお願い致します。

（文責：泉屋ゆり子）